

第4次

伊万里・有田地区定住自立圏共生ビジョン

令和7年2月

佐賀県伊万里市

目 次

I 定住自立圏及び市町村の名称

- 1. 定住自立圏の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 定住自立圏を形成する市町村の名称・・・・・・・・・・・・ 1

II 圏域の概況

- 1. 伊万里市の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 有田町の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

III これまでの取組

- 1. 生活機能の強化に係る政策分野・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2. 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野・・・・・・ 1 1
- 3. 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野・・・・・・ 1 3

IV 圏域の課題

- 1. 健康福祉における課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 5
- 2. 教育文化における課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 5
- 3. 産業振興における課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 6
- 4. 都市基盤や生活環境における課題・・・・・・・・・・・・・・ 1 6
- 5. 人材確保における課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 6

V 本圏域が目指すもの

- 1. 生活機能の強化に係る政策分野・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 7
- 2. 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野・・・・・・ 1 7
- 3. 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野・・・・・・ 1 7

VI 定住自立圏共生ビジョンの期間・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 8

VII 具体的な取組

- 1. 生活機能の強化に係る政策分野・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 8
- 2. 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野・・・・・・ 3 6
- 3. 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野・・・・・・ 4 1

I 定住自立圏及び市町村の名称

1. 定住自立圏の名称

伊万里・有田地区定住自立圏

2. 定住自立圏を形成する市町村の名称

伊万里市、有田町

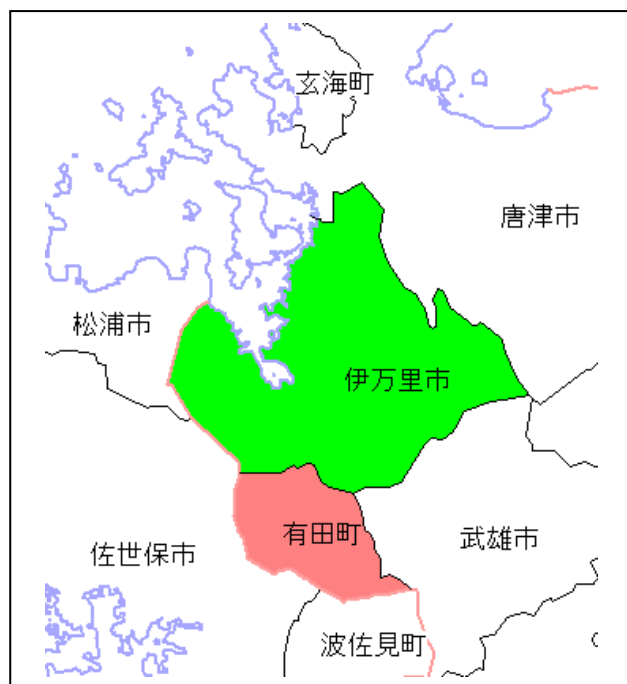
II 圏域の概況

1. 伊万里市の概況

伊万里市は、佐賀県の西北部にあって、東松浦半島と北松浦半島の結合部に位置し、伊万里湾が深く入り込んでいます。古くから大陸との交易で発展し、江戸時代には、肥前陶磁器の積出港として栄え、「イマリ」の名を世界に広めました。

今日では、重要港湾「伊万里港」としてアジア諸国に向けた国際物流拠点をめざし、港湾整備やポートセールスに取り組んでいます。また、鍋島藩窯350年の歴史と伝統を誇る伊万里焼をはじめ、豊かな自然をいかした伊万里梨・伊万里牛などの特産品の生産や半導体関連企業、造船、自動車部品等の産業のほか、市街地におけるIT企業の進出が進むなど、自然と産業が調和したまちとして着実な成長を続けています。

第6次伊万里市総合計画においては、将来都市像を「人がいきいきと活躍する幸せ実感のまち 伊万里」と定めており、その実現に向け、各種施策を展開しています。



2. 有田町の概況

有田町は佐賀県の西部に位置し、美しい景観を誇る田園地帯や黒髪連山など変化に富む豊かな自然に恵まれた温暖な気候の地域で、有田川が南北に流れて伊万里湾に注ぎ、その東西には国見連山と黒髪連山が連なっています。

有田町の基幹産業は窯業と農業であり、窯業は17世紀初めに日本で初めての磁器焼成以来、わが国を代表する産地として400有余年の歴史を誇る伝統産業となっています。農業は稲・畑作に取り組み、近年は棚田耕作や畜産などのブランド化にも取り組んでいます。この窯業と農業の産業基盤に豊かな自然と歴史資源を乗じて、有田の観光資源として活性化させる地域づくりを展開しています。

さらに、工業団地の造成と企業誘致にも力をいれるなど、産業構造の転換による地域経済の活性化に努めています。

平成30年に策定した第2次町総合計画では、その将来像を「ひとがつながりひとがつどう 世界に誇れるまち 有田」と定めています。

Ⅲ これまでの取組

本圏域では、令和２年３月に策定した第３次伊万里・有田地区定住自立圏共生ビジョンに基づき３２事業に取り組み、中でも伊万里有田共立病院の運営支援による地域医療の充実は大きな成果であると言えます。

第３次ビジョンにおいて設定した重要業績評価指標（ＫＰＩ）を基に、当該事業の目標を達成したものをＡ、一部達成したものをＢ、達成できなかったものをＣの３段階で評価した結果は次のとおりです。

達成度	事業数	割合（％）
A	15	46.9
B	3	9.4
C	14	43.8

１．生活機能の強化に係る政策分野

（１）医療

ア 地域医療の充実

事業名	1. 伊万里有田共立病院運営支援事業		達成度	B
取組の内容	伊万里・有田地区医療福祉組合による伊万里有田共立病院の運営を支援する。			
実績	伊万里市、有田町及び伊万里・有田地区医療福祉組合が連携し、医師や医療従事者の確保などに取り組みながら地域医療の充実を図った。 伊万里有田共立病院では、新興感染症への平時からの備えや医師の働き方改革への対応など、役割や機能が年々増加しているため、令和6年2月に「伊万里有田共立病院経営強化プラン」を策定し、持続可能な地域医療提供体制の確保を図った。			
指 標		基準値 (H30)	目標値 (R6)	現状値 (R5)
紹介率		62.5%	65%	91.9%
逆紹介率		78.4%	70%	128.7%
救急医療実績数（救急車搬送・ウォークイン）		3,286 件	3,600 件	2,831 件

事業名	2. 休日・夜間急患医療センター管理運営事業	達成度	A	
取組の内容	日曜日や祝日、夜間の初期救急医療体制を確保し、適切な医療サービスが受けられるよう、圏域内医療機関等との連携を図り、伊万里休日・夜間急患医療センターを設置、運営する。			
実績	伊万里休日・夜間急患医療センターを設置、運営し、西部保健医療圏における初期救急医療体制を確保した。			
指 標		基準値(H30)	目標値(R6)	現状値(R5)
受診者数		1,683 人	2,000 人	2,179 人

事業名	3. 在宅当番医制運営事業			達成度	A
取組の内容	休日（年間１０日間）における耳鼻科や眼科の初期救急医療体制を確保し、いつでも適切な医療サービスが受けられるよう、圏域内医療機関等との連携を図り、在宅当番医による診療を行う。				
実績	在宅当番医制を運営し、休日における耳鼻科や眼科の初期救急医療体制を確保し、適切な医療サービスの提供に努めた。				
指 標		基準値(H30)	目標値(R6)	現状値(R5)	
受診者数		100 人	100 人	108 人	

事業名	4. 病院群輪番制病院運営事業			達成度	A
取組の内容	休日における入院治療を必要とする重症救急患者の医療体制を確保し、いつでも適切な医療サービスを受けられるよう、伊万里・有田地区医師会が行う輪番制による診療を支援する。				
実績	休日における入院治療を必要とする重症患者の医療体制を確保するため、圏域内の7つの医療機関に対して運営の補助を行った。				
指 標		基準値(H30)	目標値(R6)	現状値(R5)	
受診者数		837 人	800 人	922 人	

事業名	5. 伊万里看護学校支援事業			達成度	C
取組の内容	圏域における看護師等医療従事者を確保するため、卒業生の多くが圏域内医療機関に就業している伊万里・有田地区医師会立伊万里看護学校の運営を支援する。				
実績	地域の保健、医療、福祉の担い手を養成する伊万里看護学校に補助金を交付し、同校の運営を支援した。				
指 標		基準値(H30)	目標値(R6)	現状値(R5)	
定員充足率		97.9%	100%	75.3%	

(2) 福祉

ア 介護分野における連携

事業名	6. 介護認定審査会運営事業			達成度	A
取組の内容	介護が必要な高齢者等が安心して介護サービスを受けることができるよう、要介護等の認定に係る認定審査業務を共同で行う。				
実績	伊万里・有田地区介護認定審査会を適切に運営し、認定審査に関する事務を行った。				
指標		基準値(H30)	目標値(R6)	現状値(R5)	
介護認定審査会の開催件数		48 回	48 回	48 回	

イ 障がい者の自立における連携

事業名	7. 障がい支援区分認定事業		達成度	A
取組の内容	障がい者がその障がいの特性に応じて安心して自立した生活ができるよう、障がい支援区分の認定に係る認定審査業務を共同で行う。			
実績	伊万里・有田地区障害支援区分認定審査会において、障がい支援区分の認定に係る審査判定業務を行った。			
指 標		基準値(H30)	目標値(R6)	現状値(R5)
障がい者支援区分審査判定件数		177 件	230 件	248 件

ウ 特別支援学校の留守家庭児童クラブにおける連携

事業名	8. 佐賀県立伊万里特別支援学校における留守家庭 児童クラブ運営事業		達成度	C
取組の内容	昼間、仕事等により保護者がいない佐賀県立伊万里特別支援学校の 児童や生徒の健全育成と、保護者の負担軽減や子育てと仕事の両立を 支援するため、伊万里特別支援学校において、留守家庭児童クラブを 設置、運営する。			
実績	伊万里特別支援学校において留守家庭児童クラブを設置、運営し、 仕事等により昼間保護者がいない児童・生徒の健全育成と、保護者の 負担軽減や子育てと仕事の両立を支援した。			
指 標		基準値 (H30)	目標値 (R6)	現状値 (R5)
留守家庭児童クラブの延べ利 用児童数		3,665 人	3,670 人	3,166 人

エ 児童の療育支援

事業名	9. 障がい児生活適応施設（ひまわり園）管理運営事業			達成度	A
取組の内容	障がい児がその障がいの特性に応じて安心して自立した生活ができるよう、伊万里市子どもハートフルセンターひまわり園を設置、運営し、日常生活等に適応するための訓練や指導を行う。				
実績	障がいのある児童や発達に遅れのある児童とその保護者に、日常生活等に適応するための訓練や指導を行うことにより、児童の福祉の向上を図った。※令和6年3月に閉鎖				
指標		基準値(H30)	目標値(R6)	現状値(R5)	
ひまわり園の延べ利用児童数		1,352 人	1,355 人	1,431 人	

オ 障がい者の生活支援

事業名	10. 障害者生活支援センター管理運営事業		達成度	C
取組の内容	障がい者がその障がいの特性に応じて安心して自立した生活ができるよう、障害者生活支援センターを設置、運営し、必要なサービスについての情報提供や相談対応、支援を行う。			
実績	自立支援協議会や障がい福祉サービス事業所等と連携しながら、伊万里・有田地域における総合的な相談支援の窓口としてコーディネートを行った。 ※有田町と共同でのセンター設置は令和3年度末終了。			
指 標		基準値 (H30)	目標値 (R6)	現状値 (R3)
障がい者等の相談件数		8,935 件	13,870 件	4,988 件

(3) 教育・文化

ア 図書館の圏域内への開放

事業名	11. 図書館運営事業	達成度	B	
取組の内容	主体的に学ぶことができる機会の提供など、個人の興味・関心に応じた学習環境を整備するため、生涯学習の拠点となる圏域内の図書館の充実を図るとともに、圏域住民に開放する。			
実績	各市町の図書館において資料を充実させ、圏域住民へ貸し出すことで、生涯学習の機会の拡大を図った。			
指標		基準値(H30)	目標値(R6)	現状値(R5)
伊万里市民及び有田町民が相手市町の図書館で借りた冊数		18,906 点	20,000 点	14,953 点
相手市町の図書館の本を取り寄せて貸し出した冊数		7 冊	20 冊	30 冊

(4) 産業振興

ア 農林水産業における圏域ブランドの確立

事業名	12. 伊万里牛振興会支援事業		達成度	A
取組の内容	伊万里牛の銘柄確立と販路拡大による生産振興を促進するため、伊万里牛振興会を設置、運営し、枝肉共励会や生産牛共進会、販売促進活動などを実施する。			
実績	伊万里産佐賀牛枝肉共励会（二日市市場：第14回～第17回、福岡食肉市場：第7回～第10回）を実施し、地元購買者との意見交換を行い、福岡都市圏において高値での取引に向けた取組を行った。 販売促進活動については、福岡都市圏において、丸十食品、博多阪急の肉の匠いとう及び岩田屋アイミートで、伊万里牛フェアの開催に合わせ、粗品の提供、ゆるキャラを使ったPRを行うとともに、伊万里牛を取り扱う焼肉店等に市が作成した販促資材を訪問して配付し伊万里牛の認知度向上を図った。 生産振興については、肉用牛繁殖基盤強化を図るため、繁殖雌牛の導入や自己保留に対する支援を行った。			
指標		基準値(H30)	目標値(R6)	現状値(R5)
上物（肉質等級5等級）率		60.1%	65%	75%

事業名	13. 圏域ブランド販売促進事業	達成度	A
取組の内容	伊万里牛等のブランド力を最大限に活用し、販路拡大を図るため、伊万里牛等を活用したイベント等を行う。		
実績	大都市圏のハイクラスのホテルにおいて、伊万里牛を始めとする食材を伊万里焼のお皿で提供する「伊万里フェア」を実施し、知名度及びブランド価値の向上に努めた。 令和２年度 ０回 令和４年度 １１回 令和３年度 ０回 令和５年度 ７回		
指 標		基準値(H30)	目標値(R6)
伊万里牛等をPRするイベントの開催回数（年間）		3 回	5 回
			現状値(R5)
			7 回

イ 農業の振興

事業名	14. 古木場ダム管理事業	達成度	C
取組の内容	安定的に農業用水を確保するため、古木場ダムの適切な維持管理を行う。		
実績	古木場ダムの長寿命化を図るため、平成２９年度に作成した農業水路等長寿命化・防災減災事業実施計画書に基づき、令和２年度までに施設を更新したほか、維持管理を継続している。		
指 標		基準値(H30)	目標値(R6)
管理運営費		17,728 千円	17,728 千円
			現状値(R5)
			37,852 千円

ウ 林業の振興

事業名	15. 伊万里西松浦森林組合支援事業		達成度	C
取組の内容	安定的な林業経営を確立し、圏域の豊かな自然環境を保全するため、伊万里西松浦森林組合の活動を支援する。			
実績	森林所有者の負担軽減を図りつつ、森林作業路の開設や間伐材等の搬出を行う伊万里西松浦森林組合の活動に係る経費の一部を補助し、森林整備の促進を図った。			
	令和2年度	間伐材搬出量：	4 3 3 m ³	
		作業路開設	： 1, 4 1 5 m	
	令和3年度	間伐材搬出量：	0 m ³	
		作業路開設	： 0 m	
	令和4年度	間伐材搬出量：	6 4 7 m ³	
		作業路開設	： 8 1 8 m	
	令和5年度	間伐材搬出量：	6 6 3 m ³	
		作業路開設	： 1, 5 8 1 m	
指 標		基準値 (H30)	目標値 (R6)	現状値 (R5)
作業路開設		3, 574m	4, 500m	1, 581m

エ 畜産の振興

事業名	16. 畜産総務事業	達成度	A	
取組の内容	安定的な畜産経営を行うため、畜産農家の生産意欲の向上を図るとともに、伊万里西松浦地区家畜自衛防疫協会や広域家畜診療所の活動を支援し、家畜の防疫環境の確保に努める。			
実績	肉質等級等の成績が優秀な畜産農家へ市長賞を贈呈し、生産意欲の向上を図った。 また、畜産農家の健全な畜産経営を図るため、家畜伝染病の予防や衛生知識の啓発などを行う、伊万里西松浦地区家畜自衛防疫協会と広域家畜診療所の運営に必要な経費を負担した。			
指 標		基準値 (H30)	目標値 (R6)	現状値 (R5)
市長賞表彰回数		6 回	6 回	6 回

オ 窯業の振興

事業名	17. 伊万里・有田焼振興事業	達成度	A
取組の内容	地域産業である窯業の担い手の育成や新商品の開発を支援するとともに、焼き物の販路拡大に向けた情報提供等を行う。		
実績	佐賀県陶磁器工業組合や伊万里・有田焼伝統工芸士会、佐賀県陶芸協会に補助金を交付した。 また、伊万里鍋島焼協同組合の大川内山のイベントや鍋島献上の儀等の活動に対し補助金を交付した。		
指標		基準値(H30)	目標値(R6)
展示会への出展回数		5 箇所	6 箇所
			15 箇所

事業名	18. 伝統産業会館運営事業	達成度	C
取組の内容	伊万里・有田焼伝統産業会館を設置、運営し、伊万里焼や有田焼の伝統的な技法の継承及び後継者の確保や育成を図る。		
実績	会館の修繕を適宜行い、適正に維持するとともにエントランスホール及び展示室を改修した。 また、利用者へのサービス向上を図るため、会館の管理運営を専門的な知識を有する指定管理者へ委託し、絵付け体験事業を行ったほか、後継者育成事業により、伝統的な技術の継承を図った。		
指標		基準値(H30)	目標値(R6)
伊万里・有田焼伝統産業会館の来館者数		57,456 人	60,000 人
			47,422 人

(5) その他

ア 衛生センターの設置、運営

事業名	19. 衛生センター運営事業	達成度	A
取組の内容	快適で衛生的な圏域の生活環境を維持するため、伊万里・有田地区衛生組合において、衛生センターを設置、運営する。		
実績	し尿等の適切な処理など適正な運営により、圏域の衛生的な生活環境を維持した。また、令和2年6月から両市町が連携し、衛生センターに隣接する浄化センターとの汚水共同処理事業を開始した。		
指標		基準値(H30)	目標値(R6)
し尿等処理施設の効率的な運営（事業費）（有田町含む）		232,539,744 円	271,992,000 円
			218,175,000 円

イ 火葬場の設置、運営

事業名	20. 火葬場運営事業		達成度	C
取組の内容	快適で衛生的な圏域の生活環境を維持するため、伊万里・有田地区衛生組合において、火葬場を設置、運営する。			
実績	伊万里・有田地区衛生組合が運営する火葬場「やすらぎ斎苑」において、両市町及び隣接地域からの遺体等の受け入れ及び火葬を行い、圏域の生活環境を維持した。			
指 標		基準値 (H30)	目標値 (R6)	現状値 (R5)
火葬場の効率的な運営（事業費）（有田町含む）		127,860,458 円	60,301,000 円	145,242,000 円

ウ 一般廃棄物処理施設の設置、運営

事業名	21. ごみ処理広域化推進事業	達成度	C	
取組の内容	ごみ処理の広域化を推進し、将来にわたり圏域の良好な生活環境を維持するため、佐賀県西部広域環境組合において、一般廃棄物処理施設を設置、運営する。			
実績	4市5町で構成する佐賀県西部広域環境組合が運営する「さが西部クリーンセンター」（一般廃棄物処理施設）において、一般廃棄物を適正に処理し、圏域の良好な生活環境を維持した。			
指 標		基準値 (H30)	目標値 (R6)	現状値 (R5)
ごみの処理量（有田町を含む）		19,814 トン	18,297 トン	18,775 トン

エ 消防・救急体制の充実

事業名	22. 伊万里・有田消防組合支援事業			達成度	C
取組の内容	効果的な消防・救急体制を維持するため、伊万里・有田消防組合が設置する伊万里・有田消防本部による円滑な消防活動を推進する。				
実績	平成26年4月1日に伊万里・有田消防組合を発足以降、圏内住民へ消防広域化のスケールメリットを生かした消防サービスを提供できるように更なる消防力の充実、強化を目指した運営を行った。				
指 標		基準値(H30)	目標値(R6)	現状値(R5)	
火災発生件数		37 件	23 件	35 件	
救急自動車現場到着平均所要時間		8.1 分	8.1 分	8.7 分	

2. 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(1) 地域公共交通

ア 圏域内の公共交通の維持・確保

事業名	23. 松浦鉄道支援事業	達成度	C	
取組の内容	圏域内を結ぶ松浦鉄道の維持に向け、鉄道の利用促進に関する調査・研究をはじめ、関係機関や団体との調整及び支援を行う。			
実績	圏域内を縦貫する松浦鉄道の利用促進及び経営安定を図るため、鉄道の維持に関する調査・研究をはじめ、関係機関や団体との調整及び支援を行った。			
指 標		基準値 (H30)	目標値 (R6)	現状値 (R5)
伊万里駅・有田駅乗降者数		620,028 人	620,000 人	517,007 人

事業名	24. バス運行支援事業	達成度	C	
取組の内容	バス路線の維持に向けた利用促進に関する調査・研究をはじめ、関係機関や団体と調整するなど、バス事業者への支援を行う。			
実績	圏域内のバスの利用促進及び経営安定を図るため、バス路線の維持に関する調査・研究をはじめ、関係機関や団体との調整及び支援を行った。			
指 標		基準値(H30)	目標値(R6)	現状値(R5)
路線バス等利用者数（有田町含む）		184,580 人	184,000 人	145,906 人

事業名	25. コミュニティバス運行事業	達成度	C	
取組の内容	圏域内において、移動制約者の日常生活における移動手段を確保するため、コミュニティバスの運行を行う。			
実績	子どもや高齢者など、移動制約者の移動手段を確保するため、コミュニティバスを運行した。			
指標		基準値(H30)	目標値(R6)	現状値(R5)
コミュニティバス利用者数（有田町含む）		90,061 人	90,000 人	76,938 人

(2) 道路等交通インフラの整備

ア 高規格幹線道路の整備

事業名	26. 西九州自動車道等建設促進事業			達成度	B
取組の内容	本圏域と福岡都市圏との時間距離を大幅に短縮する西九州自動車道の整備を促進する。				
実績	両市町を含む、福岡県、佐賀県、長崎県の沿線8市4町で組織する西九州自動車道建設促進期成会において、西九州自動車道の早期整備を目的とした、国土交通省本省をはじめ九州地方整備局、各県国道事務所への提案活動を実施した。				
指 標		基準値 (H30)	目標値 (R6)	現状値 (R5)	
伊万里道路事業進捗率		31%	50%	57%	
伊万里松浦道路事業進捗率（長崎県区間含む）		60%	80%	63%	

事業名	27. セラミックロード建設促進事業			達成度	A
取組の内容	圏域内の幹線道路となるセラミックロードの整備を促進する。				
実績	有田側山谷牧工区（L＝1，700m）が令和4年3月に完成し供用を開始した。				
	また、未整備区間の二里第二工区が令和4年度に新規事業化され測量・調査・設計が開始されたほか、伊万里側二里第一工区（L＝1，660m）の事業促進を図っている。				
指標		基準値(H30)	目標値(R6)	現状値(R5)	
二里工区の早期工事着手のため提案活動・周知活動		0回	2回	2回	

(3) 圏域内の交流促進

ア 圏域内住民の交流機会の充実

事業名	28. 観光情報提供事業		達成度	A
取組の内容	圏域内外との交流や連携を促進するため、伊万里市観光協会や有田観光協会において、圏域内の観光情報等の提供を行う。			
実績	伊万里市観光協会及び有田観光協会を訪れる観光客に対し、広域観光情報の提供を行った。			
指標		基準値(H30)	目標値(R6)	現状値(R5)
両市町で連携して情報を提供するイベントの件数		2 件	2 件	2 件

事業名	29. 観光情報発信事業		達成度	A
取組の内容	圏域内外との交流や連携を促進するため、観光パンフレットや広報紙、ホームページなどを活用し圏域内の観光情報等を発信する。			
実績	伊万里市においては、有田陶器市の情報等の発信を行い、有田町においては、伊万里市のどっちゃん祭りや秋祭りの情報を発信した。 また、令和4年9月からは広報紙を活用し、毎月観光情報を相互に発信した。			
指標		基準値(H30)	目標値(R6)	現状値(R5)
両市町で連携して広報紙等へ掲載するイベントの件数		2 件	2 件	11 件

3. 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(1) 人材育成

ア 市町職員の人材育成

事業名	30. 職員研修事業				達成度	A
取組の内容	専門的な実務能力や政策形成能力を備えた職員の育成など圏域の自治体職員の資質向上を図るため、圏域共通の政策課題を解決するための研究など、伊万里市が実施する各種研修について、有田町職員が参加する機会を設ける。					
実績	有田町職員の研修参加 令和2年度 0人 令和4年度 35人 令和3年度 0人 令和5年度 70人					
指標			基準値(H30)		目標値(R6)	現状値(R5)
研修会参加人数			25人		40人	70人

(2) 外部からの人材確保

ア 圏域の振興のための人材確保

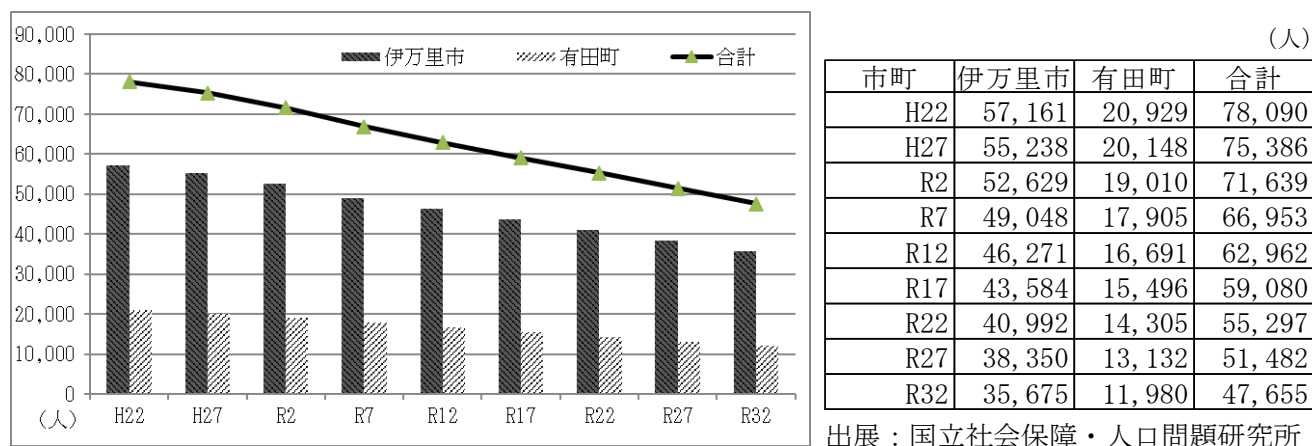
事業名	31. 観光分野などにおけるアドバイザー受け入れ事業	達成度	C	
取組の内容	窯業や農業等における技術力強化や観光分野における効果的な発信をするため、専門的な知識を有するアドバイザー等を受け入れる。			
実績	令和2年度から令和5年度においては、観光アドバイザーを常に1、2名受け入れており、専門的知識に基づいた旅行商品の造成はもとより、福岡都市圏や関東圏の旅行会社等への営業活動により、本圏域への誘客促進の一翼を担った。			
指標		基準値(H30)	目標値(R6)	現状値(R5)
外部専門家と連携した旅行会社等への営業訪問回数		7回	10回	4回

イ 県等との人材交流

事業名	32. 職員研修事業				達成度	C
取組の内容	圏域の振興を図るための調査・研究をはじめ、県等との人事交流に関する関係機関との調整とともに、職員の県等への派遣に取り組み、多様化、複雑化する行政課題の解決を図る。					
実績	佐賀県への職員派遣					
	令和2年度	企業立地課	1名	令和4年度	企業立地課	1名
	令和3年度	企業立地課	1名	令和5年度	企業立地課	1名
指標		基準値(H30)		目標値(R6)	現状値(R5)	
職員派遣人数（有田町含む）		2人		2人	1人	

IV 圏域の課題

全国的に人口減少が進む中、本圏域の人口は平成27年（2015年）から令和2年（2020年）までの過去5年間で4.97%減少しました。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、今後も人口減少が進行し、令和32年（2050年）には47,655人となり、30年間で23,984人（33.5%）減少すると見込まれています。この加速度的に進行する人口減少の抑制と移住・定住の促進に向けた施策の展開が本圏域の大きな課題となっています。



1. 健康福祉における課題

本圏域の老年人口の割合は依然として増加している状況で、死亡者数が出生者数を上回る自然減も拡大しており、地域経済や社会など広範囲にわたる影響が懸念されます。

このような中、団塊ジュニア世代のすべてが65歳を超える年となる「2040年問題」を見据え、全世代型社会保障を実現することができるよう、高齢者も障がい者も利用できる就労サービスを推進するとともに、疾病予防はもとより、次世代を含めたすべての人の健やかな生活習慣の形成や介護予防など健康づくりを強化し、健康寿命の延伸を図るほか、疾病等への対応に必要な医療体制の確保が求められています。

また、子どもの人口減少を少しでも食い止めるため、子育て支援施策の充実を図る必要があります。

2. 教育文化における課題

社会の成熟化に伴い、心の豊かさや生きがいとしての学習意欲が増大するなど、多様化する圏域住民の学習需要への対応を図ることは、学習者の自己実現のみならず、地域社会の活性化や高齢者の社会参加、青少年の健全育成など、社会全体にとっても有意義であるため、地域における生涯学習の充実に向けた環境整備が求められています。

また、日本における磁器の発祥地や古伊万里の積み出し港としての歴史や文化をはじめ、豊かな自然など、圏域固有の資源を圏域住民の財産として後世に引き継ぐとともに、住民の関心や愛着心を高め、地域の活性化へと結びつけていく必要があります。

3. 産業振興における課題

西九州自動車道の圏域内での開通を背景に、福岡都市圏との交流人口の拡大に向けた取組が求められています。

また、少子高齢化が進行する中で、地域産業の力を維持、向上させていくためには、優秀な人材の確保をはじめ、生産の基盤技術の強化と継承を図っていくことも重要です。

本圏域を代表する伝統産業である窯業については、海外からの安価な製品の流入をはじめ、和から洋へのライフスタイルの変化などから、販売額の減少が続いており、伝統工芸品としての差別化や販路拡大などへの取組が求められています。

農業については、米の直接支払交付金の廃止や原材料費などの高騰など、農業を取り巻く情勢は、厳しさを増していることから、農業DXをはじめとした農業経営の効率化や認定農業者や認定新規就農者などの担い手の育成とともに、品質向上やブランドの普及拡大といった消費者にニーズに応じた農産物の生産が求められています。

4. 都市基盤や生活環境における課題

安定的な産業の成長や快適な生活を支えるための都市基盤として、西九州自動車道をはじめとする高速交通ネットワークの形成や、圏域内の円滑な移動を確保する道路の整備とともに、高齢社会が進行する中で、公共交通機関のない地域への対応などが重要な課題となっています。

また、伊万里港においてはアジアに向けた国際物流拠点を目指した港湾施設の整備が求められるとともに、限りある水資源を安定的に確保し、農業用水や上水など、目的に応じ効率的に供給していくことが必要となっています。

さらに、東日本大震災や能登半島地震のような大規模災害ほか、線状降水帯等による局地的な豪雨災害の発生により、防災に対する住民の意識は高まっており、自然災害や原子力災害等から住民の生命や財産を守るため、消防・救急体制の強化が求められています。

5. 人材確保における課題

地方分権の推進に伴い、地方自治体における自己決定、自己責任の範囲が拡大する中、個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現するためには、多様化、複雑化する圏域住民のニーズを迅速かつ的確にとらえ、圏域において真に必要な施策を立案し、実行していくための政策形成能力を持つ人材の育成が求められています。

V 本圏域が目指すもの

国においては、急速な高齢者数の増加や生産年齢人口の減少といった状況を踏まえ、地方において、安心して暮らし続けることができる地域を形成し、地方から都市部への人口流出を食い止めるとともに、都市部から地方への人の流れを創出する定住自立圏構想を引き続き推進していく方針が示されています。

このような中、美しい海や山に抱かれ、わが国を代表する陶磁器文化発信の地としての歴史を共有してきた本圏域において、医療や福祉の充実、産業の振興など、人口減少に

歯止めをかけるために必要な生活機能の強化をはじめ、公共交通機関や交通インフラ等の整備による結びつきやネットワークの強化、行政や観光分野における人材育成による圏域マネジメント能力の強化へ取り組むことにより、将来にわたり住民がいきいきと暮らすことができる豊かで自立した圏域の形成に努めます。

本圏域の将来の人口と高齢化率の目標は次のとおりです。

人口

	令和 2 年	令和 7 年 (第 3 次ビジョン目標)	令和 1 2 年 (目標)	令和 3 2 年 (目標)
伊万里市	5 2, 6 2 9 人	5 3, 8 3 0 人	4 8, 4 8 6 人	4 1, 2 5 3 人
有田町	1 9, 0 1 0 人	1 9, 0 3 5 人	1 8, 4 7 9 人	1 6, 5 1 8 人

高齢化率

	令和 2 年	令和 7 年 (第 3 次ビジョン目標)	令和 1 2 年 (目標)	令和 3 2 年 (目標)
伊万里市	3 2. 3 %	3 2. 0 %	3 4. 8 %	3 5. 6 %
有田町	3 5. 1 %	3 4. 9 %	3 8. 4 %	4 2. 5 %

1. 生活機能の強化に係る政策分野

救急医療をはじめとする地域医療の充実に努め、介護予防などの圏域住民の生涯を通じた健康づくりを推進するとともに、高齢者や障がい者等の支援体制の構築や子育て支援を強化し、住民一人ひとりが住み慣れた圏域で支えあいながら、ともに暮らしていける地域福祉の充実に努めます。

また、図書館などの生涯学習の拠点を活用した学習機会を提供することにより、学校や家庭、地域が一体となった生涯学習環境の整備に努めます。

さらに、安全、安心な農産物の安定的な供給と収益性の確保に向けた農業生産基盤の強化とともに、技術の高度化や新分野進出への支援など地場産業の振興のほか、圏域の快適な生活空間を維持するため、廃棄物の減量化や適正な処理に努めます。

このほか、近年多発する自然災害に対応するため防災・救急体制の充実に努めます。

2. 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

圏域住民の移動や交流を支える道路の整備を促進し、公共交通体系を維持するとともに、個性豊かな郷土の歴史や地域文化等豊富な地域資源を生かした観光を振興するなど、圏域内外との交流を促進します。

3. 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

限られた人的資源を有効に活用し、新たな政策課題に柔軟に対応できる専門的な実務能力や政策形成能力を持つ人材を育成するとともに、専門的な知識を必要とする分野において、アドバイザーの招へいによる知識の修得を図ります。

Ⅵ 定住自立圏共生ビジョンの期間

本ビジョンの期間は、令和7年度から令和11年度までの5年間とします。
 なお、年度毎、進捗状況の確認を行うとともに、必要に応じ、内容を変更します。

Ⅶ 具体的な取組

1. 生活機能の強化に係る政策分野

(1) 医療

ア 地域医療の充実

(ア) 取組の概要

- ・ 本圏域においては、圏域住民が適切な医療サービスを受けることができる医療水準の確保をはじめ、疾病の予防から診断、治療、リハビリテーションまで切れ目のない医療サービスを確保するための医療機関相互の連携や、重篤な患者に対応できる医療体制の整備、医師や医療従事者の確保などが求められています。
- ・ このため、圏域内の住民が安心して医療を受けられるよう、伊万里有田共立病院をはじめ圏域内の医療機関等との連携を強化し、病診連携による質の高い医療サービスの提供を図ります。

【形成協定に規定する内容】

伊万里有田共立病院をはじめとする圏域内の医療機関との連携を強化し、機能分担を進め、地域医療の充実を図る。

(イ) 具体的な事業

事業名	1. 伊万里有田共立病院運営支援事業				関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	伊万里・有田地区医療福祉組合による伊万里有田共立病院の運営を支援する。						
効果	本圏域において、急性期医療をはじめ救急、災害、新興感染症及び小児等の医療を提供することができる。						
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計	
	513,544	517,447	502,221	502,221	502,221	2,537,654	
補助事業等	なし						
関係市町の 役割分担	〔伊万里市・有田町共通〕伊万里・有田地区医療福祉組合が設置する伊万里有田共立病院の運営に必要な経費を負担する。						
重要業績評価指標（K P I）				現状値(R5)		目標値(R11)	
紹介率				91.9%		92.0%	
逆紹介率				128.7%		99.0%	
地域救急貢献率※				45.4%		46.0%	

※ 二次医療圏で救急搬送された患者のうち、当該病院で受け入れた患者の割合

事業名	2. 休日・夜間急患医療センター 管理運営事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	日曜日や祝日、夜間の初期救急医療体制を確保し、いつでも適切な医療サービスが受けられるよう、圏域内医療機関等との連携を図り、伊万里休日・夜間急患医療センターを設置、運営する。					
効果	休日や夜間の急病に対し、適切な医療を提供することができる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	24,037	24,037	24,037	24,037	24,037	120,185
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市〕伊万里休日・夜間急患医療センターを設置、運営する。 〔有田町〕伊万里休日・夜間急患医療センターの運営に必要な経費を負担する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
診療日数 (平日夜間、休日、祝日、年末年始（12/31～1/3））				315 日		317 日

事業名	3. 在宅当番医制運営事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	休日（年間10日間）における耳鼻科や眼科の初期救急医療体制を確保し、いつでも適切な医療サービスが受けられるよう、圏域内医療機関等との連携を図り、在宅当番医による診療を行う。					
効果	休日（連休）における耳鼻科や眼科の急病に対し、適切な医療を提供することができる。					
事業費 （千円）	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	679	679	679	679	679	3,395
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市〕 圏域内医療機関等との連携を図り、在宅当番医制を運営する。 〔有田町〕 在宅当番医制の運営に協力するとともに、当該事業について圏域住民へ周知する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
診療日数				10日		10日

事業名	4. 病院群輪番制病院運営事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	休日における入院治療を必要とする重症救急患者の医療体制を確保し、いつでも適切な医療サービスを受けられるよう、伊万里・有田地区医師会が行う輪番制による診療を支援する。					
効果	休日における重症救急患者に対し、適切な医療を提供することができる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	6,343	6,343	6,343	6,343	6,343	31,715
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市・有田町共通〕伊万里・有田地区医師会が行う病院群輪番制の運営を支援するため、必要な経費を負担する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
診療日数（日曜、祝日、年末年始（12/31～1/3））				71日		72日

事業名	5. 伊万里看護学校支援事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	圏域における看護師等医療従事者を確保するため、卒業生の多くが圏域内医療機関に就業している伊万里・有田地区医師会立伊万里看護学校の運営を支援する。					
効果	圏域内医療機関に従事する看護師を安定的に確保するとともに、圏域住民に対し適切な医療サービスを提供することができる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	25,000
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市・有田町共通〕伊万里看護学校の運営を支援するため、必要な経費を負担する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
圏域内医療機関就職率				41.2%		50.0%

（２）福祉

ア 在宅療養分野における連携

（ア）取組の概要

- ・ 医療と介護の両方を必要とする高齢者等が、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる体制を整備する必要があります。
- ・ このため、在宅医療・介護連携に関する相談支援のほか、医療・介護関係者の研修等を行い、在宅医療と介護が円滑に提供される体制整備を推進します。

【形成協定に規定する内容】

高齢者等が、住み慣れた地域等で自分らしく生活を営むことができるよう支援するため、在宅療養の体制整備を推進する。

(イ) 具体的な事業

事業名	6. 在宅医療・介護連携推進事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	医療と介護両方で共通する日常の療養支援、入退院支援、急変時の対応及び看取りにおける目指すべき姿を設定し、地域医療・介護サービスの資源の把握、在宅医療・介護連携に関する相談支援、ACP※等をテーマとした医療・介護関係者の研修及び地域住民への普及啓発を行い、圏域内の在宅医療と介護が円滑に提供される体制整備を推進する。					
効果	医療と介護の両方を必要とする高齢者等が、住み慣れた地域において自分らしく暮らし続けることができる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	9,638	9,638	9,638	9,638	9,638	48,190
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市・有田町共通〕在宅医療及び介護が円滑に提供される体制整備を推進するため、必要な経費を負担する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)	目標値(R11)	
多職種研修会（介護予防、ACP、がん治療等）の開催回数				5回	5回	
市民公開講座（介護予防、ACP、がん治療等）の開催回数				1回	1回	

※ アドバンス・ケア・プランニングの略称。人生最終段階の医療・ケアについて、本人が家族や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うプロセスのこと。

イ 介護分野における連携

(ア) 取組の概要

- ・ 介護が必要な高齢者等が安心して介護サービスを受けることができるよう、介護保険法に定める要介護等の認定については、審査判定業務を公平かつ効率的に行う必要があります。
- ・ このため、伊万里・有田地区介護認定審査会を設置、運営し、審査判定業務の効率性や公平性を確保します。

【形成協定に規定する内容】

介護保険法に定める要介護等の認定に係る審査判定業務の効率性や公平性を確保するため、介護認定審査を共同で実施する。

(イ) 具体的な事業

事業名	7. 介護認定審査会運営事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	介護が必要な高齢者等が安心して介護サービスを受けることができるよう、要介護等の認定に係る認定審査業務を共同で行う。					
効果	認定審査業務における効率性や公平性の確保が期待できる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	31,046	29,736	30,223	29,736	30,138	150,879
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市〕伊万里・有田地区介護認定審査会を設置、運営し、認定審査に関する事務を行う。 〔有田町〕伊万里・有田地区介護認定審査会の運営に協力するとともに、人口等の比率に応じ必要な経費を負担する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
介護認定審査会の開催回数				48回		48回

ウ 子育て分野における連携

(ア) 取組の概要

- ・ 誰もが安心して妊娠、出産し、子育てをすることができるよう、地域における保健活動を推進する必要があります。
- ・ このため、妊産婦支援に係る意見交換や圏域内の妊産婦を相互にサポートします。

【形成協定に規定する内容】

安心して妊娠、出産し、子育てをすることができるよう支援するため、地域保健活動を推進する。

(イ) 具体的な事業

事業名	8. 地域保健活動推進事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	誰もが安心して妊娠、出産し、子育てすることができるよう、妊産婦支援に係る意見交換や妊産婦を訪問し、サポートする。					
効果	誰もが安心して妊娠、出産することができるようになる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	0	0	0	0	0	0
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市・有田町共通〕妊産婦支援に係る意見交換を行うほか、圏域内の妊産婦を訪問し、サポートする。					
重要業績評価指標（K P I）				現状値(R5)		目標値(R11)
妊産婦支援に係る研修会の開催回数				1回		1回

エ 障がい者の自立における連携

(ア) 取組の概要

- ・ 障がい者がその特性に応じて安心して自立した生活ができるよう、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に定める障害支援区分の認定については、審査判定業務を公平かつ効率的に行う必要があります。
- ・ このため、伊万里・有田地区障害支援区分認定審査会を設置、運営し、審査判定業務の効率性や公平性を確保します。

【形成協定に規定する内容】

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に定める障害支援区分の認定に係る審査判定業務の効率性や公平性を確保するため、障がい支援区分認定審査を共同で実施する。

(イ) 具体的な事業

事業名	9. 障がい支援区分認定事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	障がい者がその障がいの特性に応じて安心して自立した生活ができるよう、障がい支援区分の認定に係る認定審査業務を共同で行う。					
効果	認定審査業務における効率性や公平性の確保が期待できる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	3,140	3,140	3,140	3,140	3,140	15,700
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市〕伊万里・有田地区障害支援区分認定審査会を設置、運営し、認定審査に関する事務を行う。 〔有田町〕伊万里・有田地区障害支援区分認定審査会の運営に協力するとともに、人口等の比率に応じ必要な経費を負担する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
伊万里・有田地区障害支援区分認定審査会の開催回数				12回		12回

オ 特別支援学校の留守家庭児童クラブにおける連携

(ア) 取組の概要

- ・ 昼間、仕事等により保護者がいない佐賀県立伊万里特別支援学校の児童や生徒の健全育成と、保護者の負担軽減や子育てと仕事の両立を支援する必要があります。
- ・ このため、佐賀県立伊万里特別支援学校において、留守家庭児童クラブを設置、運営し、児童や生徒の健全育成と保護者の負担軽減や子育てと仕事の両立を支援します。

【形成協定に規定する内容】

佐賀県立伊万里特別支援学校において、昼間、仕事等により保護者がいない児童や生徒の健全育成と、保護者の負担軽減や子育てと仕事の両立を支援するため、留守家庭児童クラブを設置、運営する。

(イ) 具体的な事業

事業名	10. 佐賀県立伊万里特別支援学校 における留守家庭児童クラブ 運営事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	昼間、仕事等により保護者がいない佐賀県立伊万里特別支援学校の 児童や生徒の健全育成と、保護者の負担軽減や子育てと仕事の両立を 支援するため、同校において、留守家庭児童クラブを設置、運営する。					
効果	児童や生徒の健全育成と、保護者の負担軽減や子育てと仕事の両立を 支援することができる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	25,298	25,298	25,298	25,298	25,298	126,490
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市〕 佐賀県立伊万里特別支援学校において留守家庭児童クラブ を設置、運営する。 〔有田町〕 佐賀県立伊万里特別支援学校の留守家庭児童クラブの運営へ の協力をはじめ、当該事業について圏域住民へ周知するとともに、 留守家庭児童クラブの利用に応じ必要な経費を負担する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
留守家庭児童クラブ待機児童数				0人		0人

カ 児童の療育支援

(ア) 取組の概要

- ・ 心身の発達において支援を必要とする児童に対して、障がいの種別や程度に応じた支援が求められています。
- ・ このため、伊万里・有田地域自立支援協議会において、圏域内の児童の療育支援に関する意見交換や情報共有を行います。

【形成協定に規定する内容】

心身の発達において支援を必要とする児童に関する意見交換等を行い、療育支援の充実を図る。

(イ) 具体的な事業

事業名	11. 療育支援事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	心身の発達において支援を必要とする児童に対して、障がいの種別や程度に応じた支援を図るため、伊万里・有田地域自立支援協議会障害児等支援部会において、意見交換や情報共有を行う。					
効果	障がいのある児童に対する支援の充実につなげることができる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	0	0	0	0	0	0
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市・有田町共通〕伊万里・有田地域自立支援協議会において児童の療育支援に関する意見交換及び情報共有を行う。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
伊万里・有田地域自立支援協議会障害児等支援部会 開催回数				4回		4回

キ 障がい者の支援

(ア) 取組の概要

- ・ 障がい者がその障がいの特性に応じ、安心して自立した日常生活や社会生活を営むことができる環境の整備が求められています。
- ・ このため、伊万里・有田地域自立支援協議会において、圏域内の障がい者の生活支援に関する意見交換や情報共有を行います。

【形成協定に規定する内容】

日常生活等において支援を必要とする障がい者に関する意見交換等を行い、障がい者の生活支援の充実を図る。

(イ) 具体的な事業

事業名	12. 障がい者生活支援事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	障がい者がその障がいの特性に応じ、安心して自立した日常生活や社会生活を営むことができるようにするため、伊万里・有田地域自立支援協議会において、意見交換や情報共有を行う。					
効果	障がい者等の生活支援の充実につなげることができる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	0	0	0	0	0	0
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市・有田町共通〕伊万里・有田地域自立支援協議会において障がい者の生活支援に関する意見交換及び情報共有を行う。					
重要業績評価指標（K P I）				現状値(R5)		目標値(R11)
伊万里・有田地域自立支援協議会(障害者就労支援部会、相談支援部会、精神障害者支援部会)開催回数				7回		7回

(3) 教育・文化

ア 図書館の圏域内への開放

(ア) 取組の概要

- ・ 高齢化の進行や市民が抱える課題が複雑化する中、多様化する学習ニーズに対応するためには、主体的に学ぶことができる機会の提供など、個人の興味や関心に応じた学習環境の整備が求められています。
- ・ このため、生涯学習の拠点となる圏域内の図書館を圏域住民へ開放します。

【形成協定に規定する内容】

生涯学習の機会の拡大を図るため、伊万里市民図書館及び有田町立図書館を圏域住民へ開放する。

(イ) 具体的な事業

事業名	13. 図書館運営事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	主体的に学ぶことができる機会の提供など、個人の興味・関心に 応じた学習環境を整備するため、生涯学習の拠点となる圏域内の図書館 の充実を図るとともに、圏域住民に開放する。					
効果	図書サービスの充実による圏域住民への生涯学習機会の拡大が期待 できる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	182,804	182,804	182,804	182,804	182,804	914,020
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市〕伊万里市民図書館の資料の充実をはじめ、図書に関する 調査や研究を行うとともに、図書館を有田町民へ開放する。 〔有田町〕有田町立図書館の資料を充実するとともに、伊万里市民 図書館との連携を強化する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
相互貸出冊数				14,953 冊		20,000 冊

(4) 産業振興

ア 農林水産業における圏域ブランドの確立

(ア) 取組の概要

- ・ 輸入農産物との競争激化による価格の低迷や生産コストの増大による農業経営の圧迫をはじめ、担い手不足による耕作放棄地の増加など、農業を取り巻く環境が厳しさを増しています。
- ・ このため、伊万里牛をはじめ、伊万里梨など農林水産物における圏域ブランドの確立や販路拡大に努めます。

【形成協定に規定する内容】

伊万里牛をはじめ、伊万里梨など農林水産物における圏域ブランドの販路拡大に努める。

(イ) 具体的な事業

事業名	14. 伊万里牛振興会支援事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	伊万里牛の銘柄確立と販路拡大による生産振興を促進するため、伊万里牛振興会を設置、運営し、枝肉共励会や生産牛共進会、販売促進活動などを実施する。					
効果	伊万里牛の銘柄確立と販路拡大による生産振興が期待できる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	1,476	1,476	1,476	1,476	1,476	7,380
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市〕伊万里牛振興会を設置、運営し、枝肉共励会や生産牛共進会、販売促進活動などを実施する。 〔有田町〕伊万里牛振興会の運営に協力するとともに、伊万里市と協議の上、必要な経費を負担する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
伊万里牛振興会主催の枝肉共励会における上物 (肉質等級5等級)率				75%		80%

事業名	15. 圏域ブランド販売促進事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	伊万里牛等のブランド力を最大限に活用し、販路拡大を図るため、伊万里牛等を活用したイベント等を行う。					
効果	肥育牛における圏域ブランドの浸透と販路拡大が期待できる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	7,303	7,303	7,303	7,303	7,303	36,515
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市〕伊万里牛等を活用したイベント等を実施する。 〔有田町〕伊万里市が実施する伊万里牛等を活用したイベント等の情報を圏域住民に周知する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
伊万里牛等をPRするイベントの開催回数（年間）				7回		10回

イ 農業の振興

(ア) 取組の概要

- ・ 輸入農産物との競争激化による価格の低迷や生産コストの増大による農業経営の圧迫をはじめ、担い手不足による耕作放棄地の増加など、農業を取り巻く環境が厳しさを増しています。
- ・ このため、農業用水の確保による安定した農業経営の確立を目指し、農業用水と飲料水の貯水機能を併せ持つ古木場ダムの維持管理を行います。

【形成協定に規定する内容】

農業の振興を図るため、古木場ダムの維持管理を行う。

(イ) 具体的な事業

事業名	16. 古木場ダム管理事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	安定的に農業用水を確保するため、古木場ダムの適切な維持管理を行う。					
効果	農業用水の確保とともに、農業経営の安定化が期待できる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	24,710	24,710	24,710	24,710	24,710	123,550
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市〕 受益割合に応じ古木場ダムの維持管理に必要な経費を負担する。 〔有田町〕 古木場ダムの適切な維持管理を行う。					
重要業績評価指標（K P I）				現状値(R5)		目標値(R11)
計画に基づく点検実施率				—		100%

ウ 林業の振興

(ア) 取組の概要

- ・ 国産材需要の減退や木材価格の長期低迷による採算性の悪化などにより、森林所有者の施業意欲が低下していることから、効果的で安定的な林業の経営が求められています。
- ・ このため、伊万里西松浦森林組合の活動を支援し、水源のかん養など圏域の豊かな自然環境の保全による土砂災害の防止等森林の適正な管理を促進します。

【形成協定に規定する内容】

圏域の豊かな自然環境を保全するため、森林の適正な管理を促進する。

(イ) 具体的な事業

事業名	17. 伊万里西松浦森林組合支援事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	安定的な林業経営を確立し、圏域の豊かな自然環境を保全するため、伊万里西松浦森林組合の活動を支援する。					
効果	水源のかん養等による豊かな自然環境の保全など、森林の適正な管理を促進することができる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	1,663	1,663	1,663	1,663	1,663	8,315
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市・有田町共通〕伊万里西松浦森林組合の活動を支援するため、必要な経費を負担する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
作業路開設延べ延長（令和7年度～令和11年度）				1,581m		6,080m

エ 畜産の振興

(ア) 取組の概要

- ・ 輸入農産物との競争激化による価格の低迷や生産コストの増大による農業経営の圧迫をはじめ、担い手不足による耕作放棄地の増加など、農業を取り巻く環境が厳しさを増しています。
- ・ このため、安定的に畜産経営を行う環境の確立に向け、家畜の防疫環境の確保に努めます。

【形成協定に規定する内容】

安定した畜産経営を確立するため、家畜の防疫環境の確保に努める。

(イ) 具体的な事業

事業名	18. 畜産振興事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	安定的な畜産経営を行うため、畜産農家の生産意欲の向上を図るとともに、伊万里西松浦地区家畜自衛防疫協会や広域家畜診療所の活動を支援し、家畜の防疫環境の確保に努める。					
効果	安定的な畜産経営を行うことが期待できる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	808	808	808	808	808	4,040
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市・有田町共通〕伊万里西松浦地区家畜自衛防疫協会や広域家畜診療所の活動を支援するため、必要な経費を負担する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
病気等で死亡した牛の頭数				147 頭		132 頭

オ 窯業の振興

(ア) 取組の概要

- ・ 本圏域を代表する産業である窯業については、長引く消費の低迷や低価格の輸入品の増大などの影響を受け、厳しい状況にあることから、持続的な発展を図るための新たな販路の拡大が求められています。
- ・ このため、窯業の担い手の育成とともに、ホームページ等を活用した圏域内外への情報発信を行います。

【形成協定に規定する内容】

国内にとどまらず海外でも有名な有田焼や伊万里焼の販路拡大に努める。

(イ) 具体的な事業

事業名	19. 伊万里・有田焼振興事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	地域産業である窯業の担い手の育成や新商品の開発を支援するとともに、焼き物の販路拡大に向けた情報提供等を行う。					
効果	圏域の地域産業である窯業の担い手の育成や新商品の開発とともに、新たな販路の拡大が期待できる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	29,353	21,745	21,245	21,245	21,245	114,833
補助事業等	さが伝統産業等創造支援事業費補助金					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市・有田町共通〕窯業の担い手育成や新商品開発のほか、販路拡大に向けた情報発信等を行うとともに、必要な経費を負担する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
展示会等への出展回数				15回		15回

事業名	20. 伝統産業会館運営事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	伊万里・有田焼伝統産業会館を設置、運営し、伊万里焼や有田焼の伝統的な技法の継承及び後継者の確保や育成を図る。					
効果	圏域の地域産業である窯業の伝統的な技法の継承と後継者の育成が期待できる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	9,173	9,361	9,400	9,400	9,400	46,734
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市〕伊万里・有田焼伝統産業会館を設置、運営し、窯業の伝統的な技法の継承と後継者の育成を行う。 〔有田町〕伊万里・有田焼伝統産業会館についての住民への周知や、窯業の伝統的な技法の継承と後継者の育成に協力する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
後継者育成事業の実施回数				42回		42回

カ 人材確保

（ア）取組の概要

- ・ 人口減少などの影響を受け、圏域内の企業において人材不足の状況にあることから、人材確保を図るための官民連携の取組が求められています。
- ・ このため、事務系（IT）分野の専門学校等及び伊万里・有田地区の高校生を対象に、圏域内の企業による合同説明会を実施します。

【形成協定に規定する内容】

安定して人材を確保するため、圏域内に立地する企業の合同説明会を実施する。

(イ) 具体的な事業

事業名	21. 伊西地区企業合同説明会実施事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	都市部の事務系（IT）分野の専門学校生に対し、圏域内に立地する企業の合同説明会を校内で実施し、都市部からの雇用を促進する。 圏域内の高校生を対象に、圏域内に立地する企業の合同説明会を実施し、高校生就職率の向上を促進する。					
効果	圏域内の企業への人材確保が期待できる。					
事業費 （千円）	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	1,030	1,030	1,030	1,030	1,030	5,150
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市・有田町共通〕 合同説明会への参加企業の募集及び調整を行う。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
合同説明会の実施回数				—		3回

(5) その他

ア 衛生センターの設置、運営

(ア) 取組の概要

- ・ 快適で衛生的な圏域の生活環境を維持するため、し尿や浄化槽汚泥を適正に処理することが求められています。
- ・ このため、伊万里・有田地区衛生組合において、衛生センターを設置、運営し、衛生的な生活環境を確保します。

【形成協定に規定する内容】

圏域におけるし尿を適正に処理するため、伊万里・有田地区衛生組合において、衛生センターを設置、運営する。

(イ) 具体的な事業

事業名	22. 衛生センター運営事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	快適で衛生的な圏域の生活環境を維持するため、伊万里・有田地区衛生組合において、衛生センターを設置、運営する。					
効果	圏域内のし尿や浄化槽汚泥を適正に処理することにより、衛生的な生活環境を維持することができる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	257,237	260,213	260,213	260,213	260,213	1,298,089
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市・有田町共通〕伊万里・有田地区衛生組合に衛生センターを運営させるとともに、人口等の比率に応じ必要な経費を負担する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
し尿等処理施設の効率的な運営（有田町含む事業費）				218,175 千円		260,213 千円

イ 火葬場の設置、運営

(ア) 取組の概要

- ・ 快適で衛生的な圏域の生活環境を維持するため、火葬場を設置、運営します。

【形成協定に規定する内容】

伊万里・有田地区衛生組合において、火葬場を設置、運営する。

(イ) 具体的な事業

事業名	23. 火葬場運営事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	快適で衛生的な圏域の生活環境を維持するため、伊万里・有田地区衛生組合において、火葬場を設置、運営する。					
効果	圏域の衛生的な生活環境を維持することができる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	65,699	47,744	47,744	47,744	47,744	256,675
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市・有田町共通〕伊万里・有田地区衛生組合にやすらぎ斎苑を運営させるとともに、人口等の比率に応じ必要な経費を負担する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
火葬場の効率的な運営（有田町含む事業費）				145,242 千円		47,744 千円

ウ 一般廃棄物処理施設の設置、運営

(ア) 取組の概要

- ・ 将来にわたり圏域の良好な生活環境を維持するためには、大量消費や大量廃棄型の生活の見直しによる、ごみの減量化と廃棄物の適正な処理が求められています。
- ・ このため、佐賀県西部広域環境組合において、一般廃棄物処理施設を設置、運営します。

【形成協定に規定する内容】

圏域の良好な生活環境を維持するため、佐賀県西部広域環境組合において、一般廃棄物処理施設を設置、運営する。

(イ) 具体的な事業

事業名	24. ごみ処理広域化推進事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	ごみ処理の広域化を推進し、将来にわたり圏域の良好な生活環境を維持するため、佐賀県西部広域環境組合において、一般廃棄物処理施設を設置、運営する。					
効果	廃棄物を適正に処理することにより、圏域の良好な生活環境を維持することができる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	1,347,019	1,300,096	1,091,768	1,016,268	1,036,211	5,791,362
補助事業等	循環型社会形成推進交付金					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市・有田町共通〕佐賀県西部広域環境組合並びに関係市町と協力し、同組合に一般廃棄物処理施設を伊万里市内において運営させるとともに、運営に必要な経費を負担する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
ごみの減量化（有田町含むごみ処理量）				18,775 トン		17,389 トン

エ 消防・救急体制の充実

(ア) 取組の概要

- ・ 地震や台風のほか、局地的な豪雨災害といった自然災害をはじめ、火災や原子力災害も視野に入れた防災体制の充実が求められています。
- ・ 圏域内においてより効果的な消防・救急体制を整備するため、平成26年4月に伊万里・有田消防組合が設立され、火災や災害等から住民の生命、財産を守るため、伊万里・有田消防組合による消防・救急活動を支援し、災害の発生に備えます。

【形成協定に規定する内容】

伊万里・有田消防組合による伊万里・有田消防本部の設置、運営を支援し、消防・救急体制の充実を図る。

(イ) 具体的な事業

事業名	25. 伊万里・有田消防組合支援事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	将来にわたり効果的な消防・救急体制を維持するため、伊万里・有田消防組合による円滑な消防活動を支援する。					
効果	各種災害の発生に備えることにより、圏域の住民の安全で安心な生活を確保することができる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	1,552,511	1,794,727	1,755,448	1,755,448	1,755,448	8,613,582
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市・有田町共通〕伊万里・有田消防組合が行う消防事業を支援するため、必要な経費を負担する。					
重要業績評価指標（K P I）				現状値(R5)		目標値(R11)
合同訓練の実施回数				4回		4回
救急隊員研修（病院実習）派遣人数				24人		24人

2. 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(1) 地域公共交通

ア 圏域内の公共交通の維持・確保

(ア) 取組の概要

- ・ 鉄道や路線バスについては、通学や買い物、通院など圏域住民の日常生活に欠かせない公共交通機関として重要な役割を果たしているが、利用者数の減少とともに採算性の低下が進み、既存路線の維持、確保が困難となりつつあります。今後さらに高齢社会の進行による移動制約者の増加が見込まれることから、地域における移動手段を維持、確保することが求められています。
- ・ このため、関係機関等と連携して利用者の立場に立った運行改善による利便性の向上を図り、地域における公共交通の維持・確保に努めます。

【形成協定に規定する内容】

圏域内を運行する乗合バス事業者等へ支援を行うなど、公共交通の維持、確保を図る。

(イ) 具体的な事業

事業名	26. 松浦鉄道支援事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	圏域内を結ぶ松浦鉄道の維持に向け、鉄道の利用促進に関する調査・研究をはじめ、関係機関や団体との調整及び支援を行う。					
効果	子どもや高齢者など、移動制約者の移動手段を確保することができる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	34,843	34,843	34,843	34,843	34,843	174,215
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市・有田町共通〕松浦鉄道を維持するための調査・研究をはじめ、関係自治体等との調整を行うとともに、松浦鉄道への支援を行う。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
伊万里駅・有田駅乗降者数				517,007人		626,000人

事業名	27. バス運行支援事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	バス路線の維持に向けた利用促進に関する調査・研究をはじめ、関係機関や団体との調整とともに、バス事業者への支援を行う。					
効果	子どもや高齢者など、移動制約者の移動手段を確保することができる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	99,796	99,796	99,796	99,796	99,796	498,980
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市〕圏域内のバス路線を維持するための利用促進に関する調査・研究をはじめ、関係機関等との調整を行うとともに、バス事業者への支援を行う。 〔有田町〕バス路線を維持するための調査・研究や関係機関等との調整を行うとともに、バス事業者への支援を行う。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
路線バス等利用者数				145,906人		162,000人

事業名	28. コミュニティバス運行事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	圏域内において、移動制約者の日常生活における移動手段を確保するため、コミュニティバスを運行する。					
効果	子どもや高齢者など、移動制約者の移動手段を確保することができる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	68,673	68,673	68,673	68,673	68,673	343,365
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市・有田町共通〕コミュニティバスを運行するとともに、両市町が運行するコミュニティバスについて、圏域住民に周知する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
コミュニティバス利用者数（有田町含む）				76,938人		91,000人

（２）道路等交通インフラの整備

ア 高規格幹線道路等の整備

（ア）取組の概要

- ・ 圏域内の産業や経済の発展はもとより、圏域内外との交流や連携を促進するため、本圏域と福岡都市圏との時間距離を大幅に短縮する西九州自動車道や圏域内の幹線道路となる県道伊万里有田線（セラミックロード）の整備を促進する必要があります。
- ・ このため、国や県等関係機関への提案活動を行うなど、整備促進を図ります。

【形成協定に規定する内容】

本圏域と福岡都市圏との時間距離を短縮する西九州自動車道や圏域内の幹線道路となる県道伊万里有田線（セラミックロード）の整備を促進する。

(イ) 具体的な事業

事業名	29. 西九州自動車道等建設促進事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	本圏域と福岡都市圏との時間距離を大幅に短縮する西九州自動車道の整備を促進する。					
効果	福岡都市圏との時間距離を短縮する西九州自動車道の延伸により、圏域内外との交流や連携の促進が期待できる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	1,047	1,047	1,047	1,047	1,047	5,235
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市〕西九州自動車道について、関係機関との調整をはじめ、提案活動を行うとともに、必要な経費を負担する。 〔有田町〕西九州自動車道の整備に関する提案活動に協力するとともに、伊万里市と協議の上、必要な経費を負担する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
西九州自動車道の整備促進のための提案活動回数				4回		4回

事業名	30. セラミックロード建設促進事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	圏域内の幹線道路となる県道伊万里有田線（セラミックロード）の整備を促進する。					
効果	セラミックロードの延伸により、圏域内の交流や連携の促進が期待できる。					
事業費 （千円）	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	0	0	0	0	0	0
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市〕セラミックロードについて関係機関との調整をはじめ、整備に関する提案活動を行うとともに、必要な経費を負担する。 〔有田町〕セラミックロードの整備に関する提案活動に協力するとともに、必要な経費を負担する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
二里工区の整備促進を図るための要望活動・周知活動回数				2回		2回

(3) 圏域内の交流促進

ア 圏域内住民の交流機会の充実

(ア) 取組の概要

- ・ 圏域住民の相互交流や連携を促進するため、伊万里湾や棚田など互いの恵まれた地域資源に関する情報を共有することが求められています。
- ・ このため、圏域内の相互交流や連携に向け、観光パンフレットや広報紙、ホームページの活用によるイベント情報等の相互提供を行います。

【形成協定に規定する内容】

イベント情報等を相互に共有することにより、圏域住民の交流機会の拡大を図る。

(イ) 具体的な事業

事業名	31. 観光情報提供事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	圏域内外との交流や連携を促進するため、伊万里市観光協会や有田観光協会において、圏域内の観光情報等の提供を行う。					
効果	圏域で連携して観光情報等を提供することにより、圏域への交流人口の拡大が期待できる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	19,623	19,623	19,623	19,623	19,623	98,115
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市・有田町共通〕観光協会の運営を支援するとともに、観光協会において関係市町の観光情報等を提供する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
両市町で連携して情報を提供するイベントの件数				2件		3件

事業名	32. 観光情報発信事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	圏域内外との交流や連携を促進するため、観光パンフレットや広報紙、ホームページなどを活用し圏域内の観光情報等を発信する。					
効果	圏域で連携して観光情報等を発信することにより、圏域への交流人口の拡大が期待できる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	14,063	14,063	14,063	14,063	14,063	70,315
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市・有田町共通〕関係市町の観光情報等を入手するとともに、観光パンフレットや広報紙、ホームページ等において、関係市町の情報を発信する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
両市町で連携して広報紙等へ掲載するイベントの件数				11件		12件

3. 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(1) 人材育成

ア 市町職員の人材育成

(ア) 取組の概要

- ・ 限られた経営資源を有効に活用し、多様化、複雑化する行政課題に柔軟に対応できる人材を育成し、魅力ある圏域づくりを進めるためには、専門的な実務能力や政策経営能力を備えた職員を育成するなど圏域の自治体職員の資質向上を図り、マネジメント能力を高める必要があります。
- ・ このため、圏域をけん引する自治体職員を育成する各種研修を合同で行います。

【形成協定に規定する内容】

職員の資質向上を図り、圏域をけん引する人材を育成するため、合同による研修等を行う。

(イ) 具体的な事業

事業名	33. 職員研修事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	専門的な実務能力や政策形成能力を備えた職員の育成など圏域の自治体職員の資質向上を図るため、圏域共通の政策課題の解決に向けた研究など、伊万里市が実施する各種研修について、有田町職員が参加する機会を設ける。					
効果	職員の資質と能力の向上による圏域をけん引する人材の育成が期待できる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	0	0	0	0	0	0
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市〕 職員研修や政策課題の研究を実施するとともに、有田町の職員が当該研修等に参加する機会を提供する。 〔有田町〕 必要に応じ、伊万里市が実施する職員研修や政策課題の研究等に職員を参加させる。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
伊万里市の研修会に参加した有田町職員数				70人		70人

(2) 外部からの人材確保

ア 圏域の振興のための人材確保

(ア) 取組の概要

- ・ 圏域の魅力のより効果的な発信など、圏域の振興を図る上においては職員研修だけでは身につけることができない専門的な知識の修得が求められています。
- ・ このため、観光分野などの業務において専門的知識を持ったアドバイザーを招へいし、知識の修得を図ります。

【形成協定に規定する内容】

圏域外からの人材を確保し、観光分野などの業務における専門的知識の修得を図る。

(イ) 具体的な事業

事業名	34. 観光分野などにおける アドバイザー受け入れ事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	窯業や農業等における技術力の強化や観光分野における効果的な 情報発信を行うため、専門的な知識を有するアドバイザー等を受け 入れる。					
効果	研修だけでは身につけることができないデザイン力や技術力の強化 など専門的な知識の修得とともに効果的な情報発信が期待できる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	33,000
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市〕観光分野におけるアドバイザー等の人材確保に向け、関連 機関などと調整するとともに、アドバイザー等を受け入れる。 〔有田町〕観光分野をはじめ、窯業や農業などにおけるアドバイザー等 の人材確保に向け、関係機関などと調整するとともに、アドバイザー 等を受け入れる。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
外部専門家と連携した旅行会社等への営業訪問回数				4回		7回

イ 県等との人材交流

(ア) 取組の概要

- ・ 多様化、複雑化する行政課題を解決し、圏域の振興を図るためには、圏域のみならず広域的な課題の解決を図る必要があります。
- ・ このため、県などとの人事交流を行い、圏域を含めた広域的な課題の解決を図ります。

【形成協定に規定する内容】

県等との人事交流を行い、圏域の課題解決を図る。

(イ) 具体的な事業

事業名	35. 職員研修事業			関係市町	伊万里市、有田町	
取組の内容	圏域の振興を図るための調査・研究をはじめ、県等との人事交流に関する関係機関との調整とともに、職員の県等への派遣に取り組み、多様化、複雑化する行政課題の解決を図る。					
効果	広域的な観点からの圏域の課題解決が期待できる。					
事業費 (千円)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
	154	154	154	154	154	770
補助事業等	なし					
関係市町の 役割分担	〔伊万里市・有田町共通〕広域的な課題についての調査・研究をはじめ、関係機関との調整を行うとともに、県等へ職員を派遣する。					
重要業績評価指標（KPI）				現状値(R5)		目標値(R11)
外部機関への職員派遣人数（有田町含む）				7人		7人